

何をするにもお金が必要

僕は普通の生活において、都市の様々な場所を移動しながら何らかの行為をしている。電車やバスに乗りながら特定の生活行為のための場所を訪れ、目的を達成するとその場所を離れる。「学ぶ場所」としての大学や英会話教室、「遊ぶ場所」としてのテーマパークやゲームセンター、「働く場所」としてのオフィスビル、「食べる場所」

としてのレストラン、「くつろぐ場所」としてのオープンカフェやスーパー銭湯、「寝る場所」としてのビジネスホテルやネットカフェ。これらの生活行為は都市のいろんな場所に散在している。それぞれの生活行為は個別化し、多くの場合はお金を払い、その対価としてそれぞれの生活行為を得ている。



大学で専門分野を学ぶ



英会話教室で語学を学ぶ



有名なテーマパークに遊びに行く



ゲームセンターで遊ぶ



バスで移動する



オフィスビルで働く



レストランで食事をする



オープンカフェでくつろぐ



満員電車に揺られながら移動する



スーパー銭湯で一日の疲れを癒す



ネットカフェで情報を収集する



ビジネスホテルで一日を終える。

